

平成26年9月12日

各都道府県消防協会会長 殿

日本消防協会会长

### 地域防災をめぐる最近の動向について

各地で豪雨等による災害が相次いでおり、その都度消防団の皆さんには危険の中に身を置きながら懸命の活動を続けておられます。昨年成立の「消防団を中心とした地域防災力の充実強化に関する法律」の趣旨に沿った取組みの重要性が一層痛感される状況です。

そのようななかでの地域防災に関する最近の動きをお知らせします。

#### 1 消防団を中心とした地域防災力充実強化大会の開催

平成26年8月29日、東京都千代田区東京国際フォーラムにおいて、「消防団を中心とした地域防災力充実強化大会」という、我が国初の防災推進のための国民的大会を開催しました。全国の消防団などのご協力を頂き、幅広く各界の方々にご参加頂いて、おかげさまで各地の活動事例発表、大会申合せなど充実した大会とすることができました。大会には、ご多忙の中を安倍内閣総理大臣、新藤総務大臣、古屋防災担当大臣にご臨席頂き、ご丁重な祝辞を頂きました。破格の扱いでした。この大会を地域防災力強化への新たなスタートにしたいと思います。

#### 2 財政措置等に関する国への要望

平成26年9月11日開催の当協会理事会において、別紙1の「平成27年度消防団関係財政措置の充実確保などについて（要望）」を決定し、同日、正副会長が 高市総務大臣、消防庁長官などに面会し、要望いたしました。その内容は、ご覧の通りですが、平成27年度の消防団関係を中心とする財政措置の確保としづらしぶりに発生する土砂災害についての総合的な対策の推進です。

#### 3 局地的な集中豪雨の予測

広島市の大規模な土砂災害では、地元の消防団の皆さんには、相当長期にわたって救助等の活動を続けてこられましたが、多数の住民の方々がお亡くなりになりました。心からご冥福をお祈りいたします。そして、この災害の経験から、被害防止のための対応についていろいろな論議がなされており、今後、具体的な対策が講じられることになると思われますが、改めて、雨量の予測、地形・地質等影響ある事項についての事前認識の重要性が明らかになり、しかも、これらについては市町村の区域全域というより、それぞれの地域のピンポイント的な状況

把握が必要であることが一層明らかになったと思われます。正確性などまだいろいろな課題があるかと思われますが、さしあたり、雨量等について、予測まで含めた気象庁の情報発信が別紙2のように行われていますので、念のためお知らせいたします。ご苦心が多いと思いますが、こうしたものも活用して、必要な情報をできる限り正確に把握されるようご検討頂ければと思います。

#### 4 消防団の相互応援

東日本大震災の経験などで、消防団による相互応援に対する関心が高まつたことから、当協会は、平成24年3月1日、地震等防災対策委員会秋田治夫委員長名で応援協定の締結など消防団による相互応援の体制づくりについて通知し、さらに、応援協定のモデルについて通知しました。この度の広島市の土砂災害などで消防団の相互応援に対するご関心があらためて高まっているようですので、ご参考までに上に述べました通知を別紙3としてお送りします。ご参考にして頂ければ幸いです。

#### (追記)

この通知は、当協会のホームページにも掲載しますが、念のため都道府県内の消防団にお知らせ頂きますようお願いします。